2021年12月4日　インド大使館　バガヴァッド・ギーター

・朗誦：第10章31～42節

・引用：第13章－17節、18節

みなさん、おはようございます。

コロナ感染者はとっても減っていますので良かった。その状態を神様に祈り続けてほしいです。今日は今年最後の勉強会ですが、今年は１回も休みませんでした。１回だけ大雨の影響で電車が止まって遅れてきましたが、神様の準備のおかげで車で来て、１時間だけ講話ができました。

13章17節　１６５ページ

アヴィバクタム　チャ　ブーテーシュ　ヴィバクタム　イヴァ　チャ　スティタム/ブータ・バルトリ　チャ　タト　ジュネーヤン　グラシシュヌ　プラバヴィシュヌ　チャ//13-17

*それ（ブラフマン）は、完全に一なる存在なのに、あたかも個々に分かれて存在するかのように見え、万生万物の維持者であるのに、一切（すべて）を絶滅したり、創造したりしてもいる。//13-17*

ブラフマンは創造しました、維持しました、破壊してます、溶かします。その関係で蜘蛛の例を使いました。

蜘蛛はサンスクリット語で

urna-navi 網の「おへそ」

urna 網

navi おへそ

蜘蛛をよく見てください。女性はちょっと怖いかもしれない。男性は怖くないですが、女性は逃げるみたいです。よく見てください、蜘蛛の「おへそ」から網（糸）が出ています。本物を見たことがなくてもインターネットの写真を見てください。蜘蛛の顔は無いですから、「おへそ」から糸を出して蜘蛛の巣を作ります。

例えば、ブラフマンのやり方は「創造する、維持をする、破壊する」です。その本当のシンボル的なビジョンは「神秘的な物を見る」ことです。日本語のいい翻訳がないので、ビジョンをビジョンと言っていますけど、「神秘的なものを見る」―これがビジョンの意味です。ビジョン全部のプロセス「創造する、維持をする、破壊する」、この３つのプロセス全部で１つのプロセスになります。

**神様の２つの顔**

それについて１つ、シュリー・ラーマクリシュナは１つのビジョンを見ました。かつて聖者の経験の中に、そんなビジョンはなかった特別なビジョンです。

ある時シュリー・ラーマクリシュナは、ドッキネッショルのちょっと森みたいなところ、パンチャバティで瞑想してました。そこは、隣に神聖な川ガンガーが流れている有名なところです。

突然シュリー・ラーマクリシュナは、とてもとても美しい女性がガンガーから現れるのを見ました。それから少し後、その彼女には妊娠の兆候が見えました。その後その女性は子供を生みました。そこまで大丈夫ですが、その次はみなさんは聞きますと怖いかもしれない。ですけれども、今はシュリー・ラーマクリシュナのビジョンの描写をしていますから聞いてください。その後、突然その美人は悪魔の形になり、自分の子供を食い殺しました。

みんな創造できますか？怖い？自分の子供を食い殺しました。それには深い意味があります。本当は、神様はプラクリティですね。この自然を創って、自然を維持をして、それからその自然、宇宙を食い殺しました。それのシンボルで、そのビジョンが現れました。

みなさん、その出来事が目の前にあったら嫌ではないですか？とても怖い。ですけれどもこれは実際のビジョンです。実際のものを我々はカバーして見たくないです。でも怖がらないでください。例えば、身体だけではあんまり美しくはないので、服を着て、物を使ってメークアップして綺麗になります。服を着ると結構美しくなります。

建物もそうです。基礎的なものは鉄筋コンクリートですが、塗装した後はきれいになって印象が全然違います。

我々はそのイメージですね。本当はなんの物ですか？

我々はいつも講話の前に「あなたの優しい顔で我々を守ってください」と祈っています。ですけれども神様には本当はもう１つの顔、姿があります。我々はもう１つの姿は見たくない。

優しい顔だけ見たいですけれども、神様の包括的なイメージは両方あります。

神道の考えでは、神様はいつも優しい顔のイメージです。ですけれどもヒンズー教の考えでは、マザー・カーリーのイメージのように、両方の姿があります。１つは優しい姿で、我々に物をくださったり、守ります。もう１つの姿は、マザー・カーリーの写真を見ますと、４つの手があって、右の２つの手は上と下にあります。意味は「怖がらないで、あなたを守ります、なんでも願いをかなえます、与えます、お金をあげます、食事をあげます」など、これが優しい姿です。

もう１つは怖い姿です。１つの手には武器があり、もう１つの手には亡くなった人の頭があります。それが怖い姿です。神様は我々を作ってます、創造しています、守ります、そして殺します。「殺す」というのは「前の状態に戻ります」という意味です。「粗大的なものから精妙なものに戻す」－その意味です。本当は殺さない。お父さんお母さんの子供ですから本当は殺さない－その意味です。ですから祈りの時、「神様、あなたの優しい顔で我々を守ってください」と言います。

面白いのは、神様の化身をイメージする時、神様の優しい姿だけが現れます。もう１つの怖い姿は現れていないです。ですけれども、もう１つの姿は出ない－そんなことはないです。もちろんあります。たとえばラーマはラーヴァナを殺しました。クリシュナはカンサを殺しました。神様は、普通の信者のためにその姿を見せていないです。ですから「神様あなたの優しい顔で我々を守ってください」と祈ります。

ジョーティシャーム　アピ　タッジョーティス　タマサハ　パラム　ウッチャテー/ジュニャーナン　ジュニェーヤン　ジュナーナ・ガンミャン　フリディ　サルヴァッシヤ　ヴィシュティタム//

*それ（ブラフマン）は、光るものの光源であり、明暗を超えた存在でもある。また知識であり知識の対象でもあり、知識の究極の目的でもあって、ここ全ての心臓の中に住んでいる。*

*//13-18*

ブラフマンの印です。偉大なもの　パラム

ジョーティー：輝いたもの。ブラフマンから出ている自ら輝いたものです。

普通輝いたものあります。火、太陽、光　ジョーティ

太陽の光の源はブラフマンです。なぜなら全部ブラフマンから出ていますから。

すべての光の源はブラフマンです。この前後関係でこの光は知識のシンボルです。例えば、太陽が出ますと暗さはなくなります。知識（光）が出ますと無知（暗さ）はなくなります。

覚えてください。この知識は世俗的な知識ではありません。

無知も世俗的な無知ではなく霊的な無知です。

タマサ：暗さ・無知です。

タマサハ　パラム　ウッチャテー：暗さを超越している輝いたもの。それを超越しています。その無知はなくなります。そのすべての光の源はブラフマンです。無知の暗さを超越しています。

我々は毎回勉強会の時、

「アサトーマー　サドガマヤ　タマソーマー　ジョーティル　ガマヤ…」

とお祈りしていますが、タマソーマーはタマサと同じアイディア、ジョーティルもジョーティと同じです。ですから意味は「神様、無知の暗闇から知識の光へ導いてください」となります。

１つウパニシャッドの中に賛歌あります。

（マハラジが歌を歌われる「[Shrinwantu Vishwe Amritasya Putra](https://www.youtube.com/watch?v=_AP7DfOhjCk)」）41:25

（歌の意味）

昔のヴェーダのリシ（聖者）たちは言っています。不死の子どもたち聞いてください。皆天国に住んでいるみたいです。我々は偉大な存在者を知っています。その姿は、太陽と同じ輝きを持って、すべての暗さを超越したもの。偉大な存在のブラフマンを悟った者は、死を超越し、輪廻を止めます。自分が不死であるという本性を理解すれ、ば死の恐怖が取り除かれる。

ですけれども、それを理解してないから、何回も何回も生まれて死んでいますから、自分と身体を同一視しています。もし我々の中に不死の魂を同一視しますと、魂とブラフマンは同じですから、魂・ブラフマンを悟りますと超越します、不死になります。

別の道はないです。繰り返しますが、別の道はないです。これだけ悟れば死の恐怖はなくなります。死の恐怖を取り除く別の方法はそれしかありません。偉大なプルシャを悟って不死になります。偉大な存在ブラフマンは我々の中に魂の形で存在しています。全部同じことです。

そのプルシャは光の光、ブラフマン、それが現れますと、すべての暗さはなくなります。

超越して偉大な存在を悟ることができます。すべての無知はなくなります。

無知はなんですか？霊的な無知は、何が実在で何が非実在か、何が一時的で何が有限か、何が無限、何が永遠、実在が何かわからない。ですから非実在を実在と考えています。私は身体だと思っているので、私は魂だとわからない。ブラフマンの本性がわからない。

ブラフマンを悟れば、絶対の存在、絶対の知識、絶対の至福を得ることができます。永遠の自由ができます。すべての束縛がなくなります。それ以外の全ては無知的なことです。

私が大好きな、スワーミー・ヴィヴェーカーナンダのとても印象的な言葉があります。

By thinking always I am body,I have become body. Then why by thinking always I am artman. Why should I not be artman?

いつも身体のことを考えているので、私は身体になりました。同じ論理で、私はいつも魂、魂、魂と考えますと、私は魂になります。

「私は何を考えていますか？」－これが大事です。いつも「私は身体、身体、身体」と考えますと身体になります。死の恐怖や束縛が出ます。ですけれども、それを変化して「私はアートマンです、私はアートマンです、私はアートマンです。永遠です、無限です、純粋です、無限です、永遠です」－といつも考えると、私は魂になります。

スワーミー・ヴィヴェーカーナンダの、この話はとても面白いではないですか？

これがヴェーダーンタです。これが実践です。

それから、偉大なプルシャをどのように悟ることができますか？

ギャーナ・ヨーギのマントラがそうです。ソーアハム、ソーアハム、ソーハム、ソーハム…

（サ＋アハム＝ソーアハム　＊通常ソーハムと表記）

このようにギャーナ・ヨーギの先生はマントラを教えていますが、これ秘密ではないです。

他のマントラは、先生が弟子に直接教えるので、他の人には秘密です。

一つ話があります。あるサドゥー（遊行僧）が、ヒマラヤの森の中で瞑想してました。そのサドゥーは、いつもソーアハム、ソーアハム、ソーアハムと唱えてました。ある時虎が現れて、そのサドゥーに噛みつきました。しかしその時もサドゥーは、ソーアハム、ソーアハム、ソーアハムと唱えているのがずっと聞こえました。遠いところにも聞こえました。殺されるような、そういう状態に入っても、怖がらない。死の恐怖が無くサドゥーは死んでます。

「なんとかさん！なんとかさん！神様！守ってください」―それが何もないです。

ソーアハム、ソーアハム、ソーアハム…それを唱えます。

スワーミー・ヴィヴェーカーナンダは、この話を引用しました。このように実践することを聞いたことがありますか？

聞くだけではあまり助けになりません。これが実践です。最高の例です。私の見方で、その虎はそのサドゥーを食べましたが、絶対そのサドゥーは悟りました。身体はなくなりましたけど、絶対そのサドゥーは悟りました。そこまで実践すれば、絶対悟ります。

**ハートの中に住んでいる**

フリディはハートのことです。肉体的なハート、霊的なハート、日本語ではいつもイメージは肉体的なハートです。英語とヒンディー語、サンスクリット語では、霊的なハートのコンセプトがあります。翻訳は「霊的なハート」「考える心」「感じる心」がありますが、一番近い翻訳は「感じる心」です。「感じる心」にブラフマンが存在しています。では、どうしてその偉大な存在ブラフマンは、ハートの中にだけいますと言っていますか？本当はブラフマンは偏在ですが、どうしてハートの中にだけ存在しますと言っていますか？ブラフマンはどこにでもいます、髪にもいます、手にもいます。

胸は肉体的で、心も考える心がありますから、「感じる心」を使ったほうがいい。フィーリングが近い意味だからです。

サハスラーラはいい場所ですが、どうしてフリディ（ハート）がいいですか？

瞑想のために１つの場所を決めないと、瞑想の時集中して考えることが難しいです。

では、身体の中の、どこにフォーカス（集中）しますか？神様はどこにいますか？

神様の瞑想のために３つの場所があります。

１つはハートです。胸の真ん中の場所。フリディ（ハート）。

もう一つは眉間。神様が座ってます、アッギャーチャクラでも瞑想できます。

サハスラーラは、頭の中で外ではない、真ん中の場所です。

背筋の中にチャクラ（車輪）あります。普通は見えないですが、ヨーギーたちは瞑想でそれを見ています。

チャクラは６つあって、車輪みたいです。

それを超越しますとサハスラーラになります。これはシヴァの場所、クンダリーニからシャクティ、蛇の形のように動いてシヴァと合一します。

サハスラーラは普通の人の瞑想にはちょっと危ないです。ですから、みなさんが神様のことを集中して考えるのに一番いい場所は、胸の真ん中のフリディが安全な場所です。

ですけれども、どこでも神様はいます。スワーミー・ヴィヴェーカーナンダはこう言いました。

「私は指先でも瞑想できます。どこでもブラフマンいますから」

これは、悟りますとどこにでもブラフマンがいますから、悟った人は身体のどこでも集中して瞑想できるという意味です。

**すべてのハート**

サルヴァッシヤ　ヴィシュティタム：すべての人の心の中に（ブラフマンが）います。

バガヴァッド・ギーターは、すべて言葉に深い意味があります。

「皆さんの中にブラフマンは存在しています」－この「皆さん」という言葉がどうして大事ですか？聖者、求道者のハートの中だけではなく、ヒンズー教徒の中、インド人の中だけと言っていない。イスラム教徒、キリスト教徒だけとも言っていない。

「すべての人」の意味は、罪人や犯罪者、悪魔のようなとてもとても酷い罪人の中にもブラフマンは存在しています－という意味です。

他には（他の宗教や教え）「われわれの聖典を信じないと、あなたは地獄に行きます。魂はないです」－という教えもあります。

ですけれども、パラダイスから堕落しました。堕落した後も存在します。前現れていましたけど今は現れていない－それだけです。雲が現れますと太陽がなくなりますか？いいえ、太陽は存在しています。それと同じことです。

スワミー・ヴィヴェーカナンダは言いました。

「とてもとても酷い罪人を憎めない。」

聖者たちはいつも罪人を助けていましたし、愛してました。イエスはマグダラのマリアを助けて守りました。シュリー・ラーマクリシュナはギリッシュ・ゴーシュを守りました。普通の人、ピューリタンやその種類の人々は、ギリッシュ・チャンドラ・ゴーシュをその時避けていました。ですけれどもシュリー・ラーマクリシュナは、みなさんのためにいつも自分の部屋の扉を開けていました。

ギャーナン　ゲーヤン　ギャーナ ガンミャン　*13-18*

※ギーターの本には「ジュニャーナン　ジュニェーヤン　ジュナーナ・ガンミャン」と表記

（欄外参照）

ギャーナン：ブラフマンは知識です。

ゲーヤン：ブラフマンは宇宙の形で現れました。それは知識の対象です。

ギャーナ ガンミャン：道。ブラフマンの悟りの道です。ブラフマンは目的、ブラフマンは道で、ブラフマンは方法です。

シュリー・ラーマクリシュナは道です。シュリー・ラーマクリシュナは目的です。

イエスは道です。イエスは目的です。

ブッダは道です。ブッダは目的です。

ブラフマンは道です。ブラフマンは目的です。

以上

※サンスクリット語の発音について



上記のサンスクリット語は、カタカナでジュニャーナ、ジュナーナ、ニャーナ、ギャーナなどいろいろな表記があります。

それはサンスクリット語の繊細な発音が日本語にはないからです。

現在ヴェーダーンタ協会の講話のまとめでは、マハーラージの発音をカタカナにした

「ギャーナ」と表記しています。

バガヴァッド・ギーターの本に書かれているカタカナは、以下のように読み方が変わります。

ジュニャーナン→ギャーナン

ジュニェーヤン→ゲーヤン

ジュナーナ→ギャーナ